

令和3年度 秋サケ河川そ上予報

1 令和3年度河川そ上予測

河川毎に平成18年級以降の年齢別回帰尾数、3～5年前の卵収容実績と過去の旬別河川回帰率を用いて時期別の河川そ上予測を行い、12月上中旬をピークとする15万尾となりました（図、表）。

各河川の旬別のそ上予測について、別表1のとおり令和2年度の実績値（上段）、令和3年度予測上限値（2段目）、予測値（3段目）、予測下限値（下段）をとりまとめました。

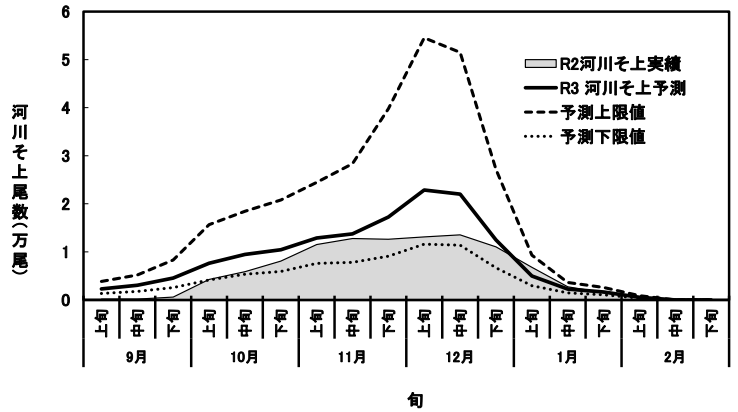


図 令和3年度旬別河川そ上予測と令和2年度旬別河川そ上実績

表 令和3年度河川予測結果

単位：尾

	予測下限値	予測値	予測上限値
沿岸河川	80,044	145,542	306,238
北上水系	1,949	2,459	8,109
合計	81,993	148,001	314,347

2 課題

予測どおり15万尾の親魚がそ上した場合においても、雌の比率が50%、雌1尾の卵数が2,500粒と仮定すると、雌を80%使用しても1億5千万粒程度の採卵となり、計画達成が困難と考えられます（別表2）。

早期から海産親魚を使用できるよう、漁期前には関係者の協力体制を整えておくことが重要です。

岩手県全体の予測については、令和3年7月26日（月）に公表予定です。